

9/1(木)

防災訓練に参加しましょう

平成23年度「埼玉県・川口市総合防災訓練」 (第32回九都県市合同防災訓練)開催

未曾有の大惨事となった東日本大震災。災害はある日突然やってくる。そのときに大切なことは、自分で自分の身を守る「自助」、地域の中で助け合う「共助」です。日ごろから防災に対する知識を身につけるとともに、隣近所とのつながりを深め、防災訓練に参加し、いつでも地域で助け合える体制を築きましょう。

日時：9月1日(木)防災の日 8時～12時30分
場所：舟戸グラウンド(中央会場)・川口駅東口キョボラ広場・川口元郷駅芝川公園・本町小学校・舟戸小学校・並木小学校・飯仲小学校・仲町小学校・荒川運動公園管理棟(広域防災拠点)・グリーンビュー第3川口(マンション会場) ほか

参加団体：市内全町会および自治会・防災関係機関・九都県市(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市)・川口市 など

実施内容：集団避難訓練・避難所開設運営訓練・災害時要援護者対応訓練・マンション住民震災対策訓練・中学生によるみんなで守ろうわが家が街訓練・駅前滞留および帰宅困難者対策訓練・防災関係機関による応急復旧訓練・大規模救出救助訓練・防災フェア など



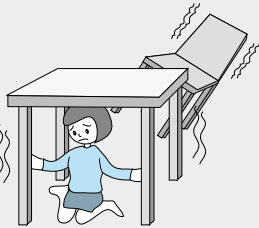
当日は、「8時に東京湾北部を震源とするマグニチュード7.3、震度6強の地震が発生した」という想定で訓練を開始します。みなさんも時間になったら、まず「身の安全を図る」「火の始末」「避難場所を考える」という一連の行動の訓練を実施してみてください。



地震が起きたときの避難方法

地震発生

- 机の下にもぐり頭を守るなど、まず自分の身の安全を図る
- ドアや窓を開けて逃げ道を確認
- 火の始末
- 落ち着いたら家族の安否確認



家を出る前にブレーカーを落とす

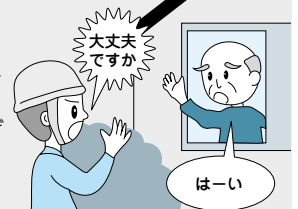
- 非常時持ち出し品を用意
- 車は使わない



近隣指定場所

近隣のごみ集積所や駐車場など
マンションの場合はエントランスなど

- 近隣の安否確認
町会の班(組)単位で確認
- 災害時要援護者(高齢者・障害者・外国人など)の安否確認
- 安否確認ができない場合は逃げ遅れの可能性も→すぐに救護へ



避難経路は危険がいっぱい
家屋やブロック塀の倒壊・火災の発生・電線の切断・ガスの漏洩などの危険要因が。災害時要援護者を優先に、とりあえず「一時避難広場」に避難。

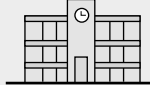
町会(自治会)の集結
自主防災組織や防災リーダーを中心に避難体制を

一時避難広場

公園や小・中・高校(面積1,000㎡以上278カ所)

避難所

小・中・高校、教育
研究所(80カ所)



(災害時要援護者はこのあと二次避難所へ)

一次避難場所

青木町公園、オーリース場、西・南・芝中学校、戸塚榎戸公園、川口西公園、芝・東・北・新郷・安行・戸塚スポーツセンター(面積20,000㎡以上13カ所)

広域避難場所

グリーンセンター、荒川河川敷(面積100,000㎡2カ所)

※災害の状況に合わせて適切な場所へ集団避難

災害規模の縮小

- 余震が収まったら
- 自宅の被害が分かったら

避難所

自宅で生活できない



自宅

自宅で生活できる

